

事業所防災リーダー通信 2025 Vol.15

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



あらゆる災害に備えた避難経路を確認しましょう

1 火災や水害など、さまざまな災害で想定してみましょう

発生しうる複数のリスクを想定し、それぞれに対応した行動計画を立てておくことが大切です。

2 経路は複数決めておきましょう

決めている経路が使えない可能性もあります。

3 従業員も参加する避難訓練も実施しましょう

実際の避難行動を想定し、従業員がスムーズに動けるか確認することで、緊急時の混乱を防ぎます。



災害を想定して、実際にやってみましょう

☐ 「事業所・店舗の図面」と「事業所・店舗から避難場所までの地図」を用意する
(手描きのもので構いません)

☐ 図面と地図を持って、実際に「事業所・店舗で被災してから避難する場所まで」の
経路を歩いてみる

☐ 「避難経路を荷物が塞いでいる」など、危険な場所があれば図面と地図にメモし、後で改善する



東京事業所
防災実践
マニュアル
はこちら▼



※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」 P46～P51 「4.避難経路を確認すべし」より

POINT 「避難する場所」の違い

※出典元「東京防災」より

種類	役割	例
避難場所	危険から逃れるために避難する場所	大きな公園・広場、 学校のグラウンドなど
避難所	自宅が被害を受け、生活困難な場合に一定期間生活する場所	学校 公民館など
一時集合場所	避難場所へ避難する前に、周辺からの避難者が一時的に 集合して様子を見たり、集団を形成する場所	学校のグラウンド 近所の公園

それぞれの場所は、自治体が発行するハザードマップに書いてあります。避難の用途が限られている避難場所もあるため、「どこに・どの災害で避難できる避難場所があるか」を確認しておきましょう。



東京都防災マップ▶

<https://map.bosai.metro.tokyo.lg.jp/?l=35-0%2C38-0%2C51-0%2C53-0%2C59-0%2C60-0%2C61-0%2C1015-0&ll=35.69187929999999%2C139.389038&z=10>

東京都からのお知らせ

東京都では、多くの事業所からの**防災リーダーの登録を募集**しています。防災リーダーは、1企業や1団体1名ではなく**事業所(支社、営業所など)ごと、グループ企業ごと、また、1団体に複数名も登録**できます。ぜひとも、この機会に多くの方にご登録いただき防災リーダー同士の結束を強めていきませんか。右記のQRコードを候補者の方にご案内ください。



https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1021045/index.html